

協働パイロット事業（H25）企画提案書

団体名：NPO法人 スリーピース

1. 事業の名称

困った時には、声をかけてね。

【静岡市子育て支援団体紹介カタログ】の制作

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

～H24 静岡市に子育て支援団体連絡会が発足～

静岡市内には150を超える幼稚園、保育園がありますが、H24年4月時点においても未だ155人の待機児童が存在します。また、少子化問題も深刻で、2020年には1995年時点の約7割にまで落ち込むとの試算結果がでています。こうした背景にあって、近年、市内の数多くの民間団体がそれぞれの得意分野を活かし、独自に子育てを支援しておりますが、残念ながら横の連携が乏しく相互連携による活動が希薄でした。そこで、この課題を解決すべく、昨年、静岡市子育て支援団体連絡会が発足しました。

～認知度の向上で、もっと身近な存在に～

発足以降、これまでに計3度の会合を実施し、連絡会内では各団体が本当に有益な活動を行っているとの理解が深まってきました。そこで、次の課題として、こうした活動を広く対象者にお伝えしていくことの重要性が共通認識となっています。

～日本一、子育てのしやすい街を目指して～

子育ての悩みは、実に多岐に渡ります。市内の幼稚園、保育園、各公共施設等に支援団体のカタログを設置することで、保護者様が何か困った時、それに対応する団体が市内にもこれだけあるんだということ、そして、気軽に活用できることをお伝えすることで、静岡市が【日本一子育てのしやすい街】となることを目指していきたいと思えます。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

私達の団体では、これまでも行政や教育機関と連携して媒体を企画・設置させて頂いた実績があります。各団体の特徴を簡潔にまとめ、わかりやすくレイアウトすることで、保護者様が目にした際、記憶に残る媒体として制作し、且つ各施設に設置を依頼するところまでの全行程を担当致します。

行政には、これまでも連絡会の事務局として活動頂いておりますが、この制作過程においても各団体様との連絡等のバックアップ及び完成後の宣伝広報などについてご支援を賜れば幸いです。

また、将来的には、市で発行されている【しずおかし子育てハンドブック】との連携が図れば、更に相乗効果が発揮できるものと考えます。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

市内200カ所への設置及び各団体を経由しての配布（計500ヶ所）。

市内の幼稚園、保育所、子育て支援センター、図書館、体育館、文化会館、科学館、音楽館、動物園及び行政各担当窓口等、子育て世代の利用する施設に設置し、より広域への告知を図ります。

また、各団体を通じて、地域の町内会やボランティア団体等への配布も行います。

5. 事業計画

- 1 事前にラフ案を制作し、連絡会役員と協議のうえ、掲載内容を検討します。
その際、設置場所や設置しやすい大きさ等についても調整をはかり、フォームを整えます。
- 2 完成したフォームを連絡会の会合にて説明し配布、制作のスケジュールや掲載データのやりとり等について確認します。
- 3 行政と連携し、各団体から集まってくるデータをもとに、各団体欄の制作に入ります。
また、併せて行政から伝えたい情報についても盛り込めるようその他関連欄の制作を行います。
- 4 制作物の骨子がまとまったところで、内容を伝え、設置機関に対して依頼を行います。
その際、最終的な発行部数の調整を行います。
- 5 完成したカタログを各機関に持参し、設置頂きます。
- 6 連絡会にて完成品を配布し、設置先についても報告します。
その際、完成品について評価を実施し、今後についての検討を行います。

6. スケジュール

- 6～7月 ラフ案制作／連絡会役員を含め、掲載内容を検討
子育て支援連絡会（以下連絡会）にて発表／各団体に制作フォームを配布
- 7～8月 制作開始
各団体より情報収集
各団体欄の制作（郵送、電話、mail、FAX）
その他関連欄の制作（連絡会会長、行政担当部署）
- 9月 設置機関への依頼／発行部数調整
完成／連絡会にて配布
- 10月 各機関に持参。設置
- 11月 連絡会にて報告／効果測定→今後についての検討

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

☆紙面デザインについて

- ・これまでのノウハウを活かし、当法人にてラフ案を制作し、関係者と協議のうえ進行します。

☆掲載内容について

- ・限られた紙面の中に何を掲載すれば効果的か、またどのようなサイズが適正か等、連絡会役員と協議のうえ進行します。

☆設置場所について

- ・これまでの実績を活かし、当法人にて各機関に設置の依頼をします。

★★全体的な編集作業について★★

- ・従来より複数の団体を取りまとめた媒体の企画（幼稚園カタログ 35 園、保育園カタログ 59 園）を実施しておりますので、そのノウハウを活かし、情報の連携⇒確実な制作作業を行います。

スタッフ：

小林鉦史：NPO理事長、(株)コム・サイド代表取締役。17年間の学校法人勤務経験を活かし、H18年より子育て支援に関するNPOの中心メンバーとして活動。静岡市幼稚園カタログ、保育園カタログ、こども新聞、いいこと日記等を定期的に企画、発行している。静岡市子育て支援団体連絡会会員。

新井彩乃：NPO会員、デザイナー。一連の制作物のデザイン制作について、行政、教育機関との連携役として制作、監督を行っている。

齊藤 碧：NPO会員、一連の制作物に関する情報のとりまとめ役として、定期的に各機関との連絡係として活動している。

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

■専門性

H18年より活動を開始し、今年度に至るまで継続して幼稚園カタログと保育園カタログを発行しております。また、教育機関との連携も年々深まり、“こんな情報が欲しい”“これをまとめて冊子にしたい”等々、その他の依頼も多く受けるようになりました。

■独自性

【ちゃむ】の例をあげるまでもなく、サイト上の情報として掲載されているものは複数見受けられますが、紙媒体として支援団体を分かり易くまとめたものはありません。静岡市における広告認知性（1人の方が商品を知覚する為に接触する係数）が3回といわれている現状において、サイト以外の広告物を制作し、広く設置することには大きな意味があると考えます。

■先駆性

現状の支援団体は集い・交流、遊び、学び、情報発信、その他、行政機関等に分類され31団体が加盟しておりますが、まだまだ子育てを支援している団体があるはず。この媒体を通じて、更に多くの団体の加盟、又は協力企業が増加して頂ければ、より子育てのしやすい街に近づくはず。

■実績 ～主な企画物～

- ・静岡地区幼稚園カタログ（H18～）／静岡市保育園カタログ（H18～）
- ・いいこと日記（H24：静岡県社会福祉協議会：ふれあい基金事業）
- ・こども新聞（H22～）
- ・福利厚生用クーポンブック（H19より年3回発行～）

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名: NPO法人スリーピース

企画のタイトル: 静岡市子育て支援団体カタログの制作

項目	金額	説明
カタログ印刷・制作費	195,000	A2判両面カラー/全30団体掲載 1,000部
通信費	7,200	・印刷費: 134,700円 ・制作費: 60,000円
交通費	12,000	制作に係る各団体との連絡 ・郵送: 80円×30団体×3回=7,200円
事務管理費	23,800	完成品の納品作業 ・200ヶ所(25ヶ所×8日)×100km ・150円×80L=12,000円
小計 A	238,000	
消費税 B=A×0.05	11,900	
合計 A+B	249,900	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	NPO法人 スリーピース
企画案のタイトル	困った時には、声をかけてね。 【静岡市子育て支援団体紹介カタログ】の制作
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>静岡市にはH24.4月時点でも未だ150名以上の待機児童が存在し、また2020年には1995年時点の約7割まで子供が減少するという深刻な少子化問題もあります。</p> <p>こうした中、民間ベースでも数多くの団体がそれぞれの得意分野を活かした子育て支援を実施、昨年には、子育て支援団体連絡会も発足し、30を超える団体が相互理解を深めつつ、より子育てのしやすい街づくりに取り組もうとしております。</p> <p>一方、各々の団体の活動は多岐に渡り、実に有益なものでありますが、その活動が広く市民に周知されているとは言い難いのが実情です。</p> <p>そこで、こうした団体の活動を一覧できるわかりやすいカタログを作成し、市内の子育て世代が利用される施設に設置することで、民間レベルでも、より子育てのしやすい街づくりに寄与していきたいと考えます。</p>
金額	249,900円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。